

## 国語

名前 \_\_\_\_\_

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント 11~14 を少しずつ進めていくこと。次回の国語授業で 13 の漢字テストを行います。	
② 知識プリントことわざ 1・反対語 1 を少しずつ進めていくこと。 (第 3 回 G 模試の範囲になります)。	
③ 第 17 回 宿題その一 [知らなかった言葉がでてきたら、意味までふくめて覚えましょう。]	
④ 第 17 回 宿題その二 [空欄の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑤ 第 17 回 宿題その三 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう。]	
⑥ 第 17 回 宿題その四 [( ) の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう。]	
⑦ 第 17 回 授業でメモしきれなかった部分を、後から思い出して追記しておく。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第 17 回 授業で解いた設問の復習 [記述] (×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。)	

## 語彙動画

語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を紹介しています。動画を見るのが宿題というわけではないですが、動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。



## 語彙コント

語彙動画の視聴を習慣化して、楽しく語彙を増やしましょう。  
毎朝 1 本ずつ見るとよいでしょう。

## 担当からの連絡

今回と次回で一つの話を取っていきます。今回扱ったところは「変化前」の部分にあたります。今回の文章の内容について話させてみて、その際に「きっかけ」「変化後」にあたる部分の予想をご家庭で話し合ってみるのもよいでしょう。

問一では対比に関わる問題を設けています。こういう時に、「～は～だが、～は～。」や「～は～。しかし、～は～。」という形(本問であれば「男子生徒たちは、～。しかし、女生徒は、～。」という形)を意識できれば、記述問題にも取り組みやすくなってきます。そのうえで、文章内容のどの部分をもとにして書いていくのかを探していくとよいでしょう。